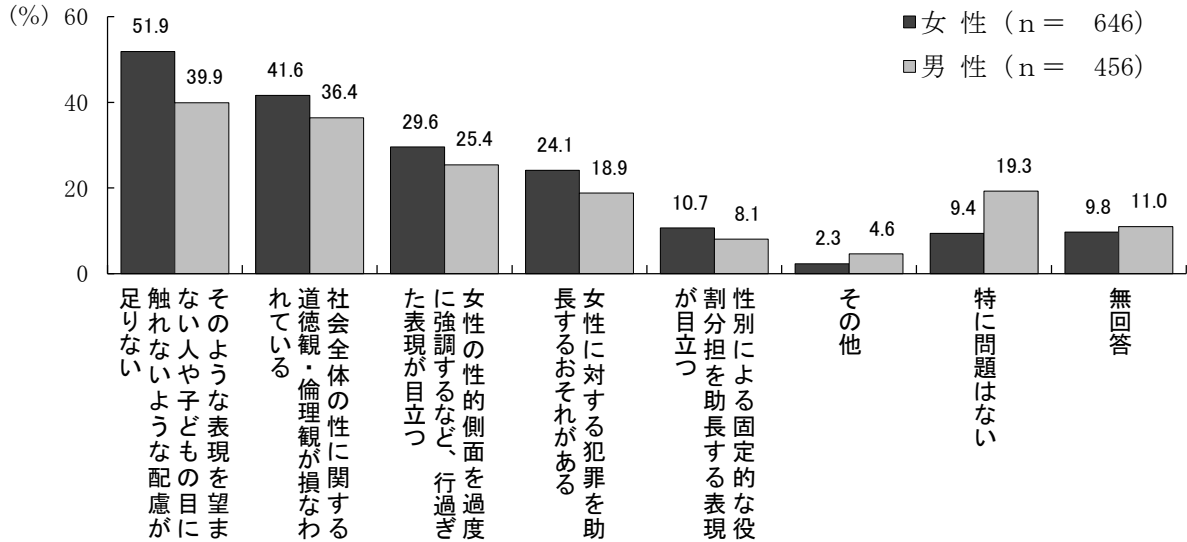


4 人権・暴力

メディア・リテラシー

問 テレビ、映画、新聞、雑誌、ゲーム、インターネットなどメディアでの性別による固定的な役割分担の表現や、女性に対する暴力、性の表現について、あなたはどのように考えますか。

「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」が多く、女性では51.9%で、男性より12ポイント多くなっています。



配偶者等からの暴力等
被害経験の有無

問 あなたはこれまでに、配偶者（事実婚や別居、離別を含む）や恋人などのパートナーから、次にあげるようなことをされた経験がありますか。

すべての項目で、男性より女性の方が、被害経験がある割合（「何度もある」、「1、2度ある」）が多くなっています。

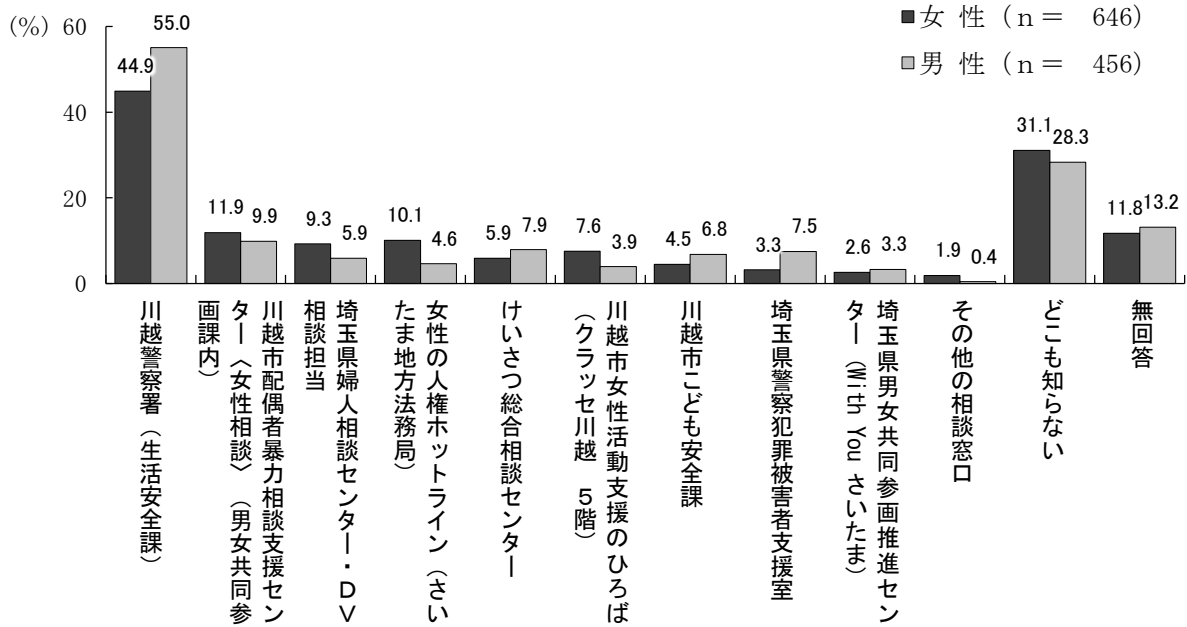
(n = 全体 : 1,133、女性 : 646、男性 : 456)

		何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答
(1) なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する行為を受けた	全体	4.4	11.5	73.8	10.3
	女性	5.6	12.8	71.7	9.9
	男性	2.9	9.9	78.5	8.8
(2) 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせ。あるいは、恐怖心をあたえるような脅迫やおどしを受けた	全体	4.5	10.3	73.9	11.3
	女性	6.3	11.1	71.8	10.7
	男性	2.2	9.4	78.5	9.9
(3) 嫌がっているのに、性的な行為を強要された	全体	2.6	6.4	79.5	11.5
	女性	4.3	9.9	75.5	10.2
	男性	0.2	2.0	87.1	10.7
(4) 必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせるなど、経済的に弱い立場に立たされた	全体	2.8	3.1	82.3	11.8
	女性	4.5	4.0	80.8	10.7
	男性	0.7	2.0	86.4	11.0

配偶者等からの暴力等に関する相談先の認知状況

問 あなたは、配偶者やパートナーからの暴力について相談するところを知っていますか。

男女ともに「川越警察署（生活安全課）」が最も多くなっていますが、男性では55.0%で女性より約10ポイント多くなっています。



配偶者等からの暴力等に対する対策や援助

問 配偶者やパートナーからの暴力に対する対策や援助として、特にどのようなことが必要だと思いますか。

女性では「被害者とその子どもが安定した生活を確保するまで安全に暮らせる住宅」が39.8%で最も多く、次に「被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所 (シェルター)」が39.6%が多くなっています。

